

## 第82回 経営協議会議事録

日 時：令和2年5月18日（月）  
～令和2年5月22日（金）

### 出席者

長谷部勇一（議長）、高木まさき、梅原出、根上生也、中村文彦、松川誠司、  
相澤益男、亀崎英敏、國井秀子、合田隆史、辻慎吾、古尾谷光男、松本洋一郎

### 議 事

#### I 議事録報告

第80回経営協議会議事録（案）及び第81回（臨時）経営協議会議事録（案）について、資料1-1～資料1-2のとおり確認した。

#### II 特別報告

##### 1. 新型コロナウイルスに係る本学の主な取組について

新型コロナウイルスに係る本学の主な取組について、資料2及び資料2-1～資料2-3のとおりご報告された。

委員からの意見等は次のとおり。

- ・新型コロナウイルス感染に対応し、横浜国立大学が「横浜国立大学緊急学修支援事業」を立ち上げたことは、大変高く評価される。現状を的確に把握した上で、思い切った支援策を迅速に実行された。素晴らしい取り組みだと思う。
- ・緊急事態に対し早急に果敢な措置をとられていることを高く評価する。その上で弊見、下記の通り。
  1. 本年度の学長裁量資金枠の本緊急学修支援事業への全額乃至一部振替え
  2. 春学期分のみならず秋学期分授業料納入期限の延期
  3. 校友会、富丘会等への積極的協力要請をご検討戴きたい。尚、今回本学が全面的な遠隔授業の実施に取り組んでいることは特筆すべきことである。今回の事態を奇貨として、将来に亘って国際的視野の観点からも本学が”遠隔と対面のハイブリッド型授業実施大学”として機能することを標榜していくことが望まれる。
- ・適切な取組であると思う。迅速にご対応いただくことを願う。  
なお、留学生に対してはとりわけ丁寧なコミュニケーションが必要。
- ・迅速かつ的確な対応だと思う。緊急対策の後の「新しい生活様式」に対応する環境整備の在り方について、第二波も想定しつつ、検討を始めていると思う。急ぐのは入試かと思う。国大協でも既に検討されていると思うが、通学事情など各大学固有の問題もあろうかと思うので、緊急対策で大変な中、かつ不確定の要素が多い中ではあるが、いろいろなケースを想定しつつ、早めの対応が望まれる。

- ・学生の学びの継続のために様々な施策を取られていることは良い取り組みだと思う。政府も学生支援緊急給付金などの支援策を取り始めているが、学生がそれらの必要な情報にアクセスできるとも限らない。学校側からあらゆる手段を学生に対して提示し、学生が学びを継続できるように引き続き積極的に働きかけてほしい。

オンライン授業が開始されているようだが、きちんと機能しているか確認した方が良い。双方向のやり取りが生まれにくいなどオンラインのデメリットが解消されるような工夫が必要だ。また、オンライン授業により大学の価値、あり方についても変化が起こるかもしれない。ウィズコロナ、アフターコロナの時代にも選ばれる大学について考えていく必要がある。

- ・上場企業の来年度採用者数の見直しが進んでいる。新たな就職氷河期を作らないため、就職対策の強化をぜひお願いしたい。

### III 審議事項

1. 国立大学法人横浜国立大学における新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の発令に伴う特別措置に関する規則の制定について

第284回（臨時）役員会において、資料1-1～資料1-2のとおり承認された「国立大学法人横浜国立大学における新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の発令に伴う特別措置に関する規則」について、審議の結果、原案のとおり追認された。

2. 第3期中期目標期間評価の4年目終了時評価に係る「現況調査表（案）」について

第3期中期目標期間における4年目終了時評価のうち「教育・研究」の評価について、資料4-1～資料4-3のとおり現況調査票及び研究業績説明書を作成・提出することについて、審議の結果、原案のとおり承認された。

### IV 報告事項

1. 平塚地区土地貸付事業優先交渉権者の選定について

資料5のとおり、平塚地区土地貸付事業優先交渉権者を選定したことについて報告された。

以上